

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略の概要

平成 29 年 4 月改訂版

◇ まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略とは

人口減少問題に対して期間を定めて、これまでにない視点から養父市の強みを活かす取組を重点化。

【副題】 “農” が拓く養父の未来 若者と女性が活躍する豊かな“やぶぐらし”創造への挑戦

養父市の国家戦略特区の取組は、地方創生の先駆けであり、今後のまちづくりの推進の方向性を示すものです。

養父市における農業は、市民の日々の暮らしに深く関わっており、産業としての農業だけでなく、農業の持つ多面的機能を踏まえ、特区の取組の主軸である「農業」はもちろんのこと、暮らしの中の“農”に焦点を当てた取組を推し進めます。

養父市の戦略の主人公はまず「人」です。“農”を中心に豊かな自然環境を活かし、次世代を担う若者、とりわけ若い女性が活躍できる社会を実現し、経済性だけでなく心豊かな生活ができる“やぶぐらし”を創造することで、人口減少問題に果敢に挑みます。

◇ 戦略の期間と位置づけ

平成 27 (2015)年度 ～ 平成 31 (2019)年度

国の長期ビジョンに合わせて 2060 年における養父市の姿を展望しながら、この期間は人口動態の対象を明確にし、集中して取り組むもの。2060 年の人口確保に向けた基盤づくり。

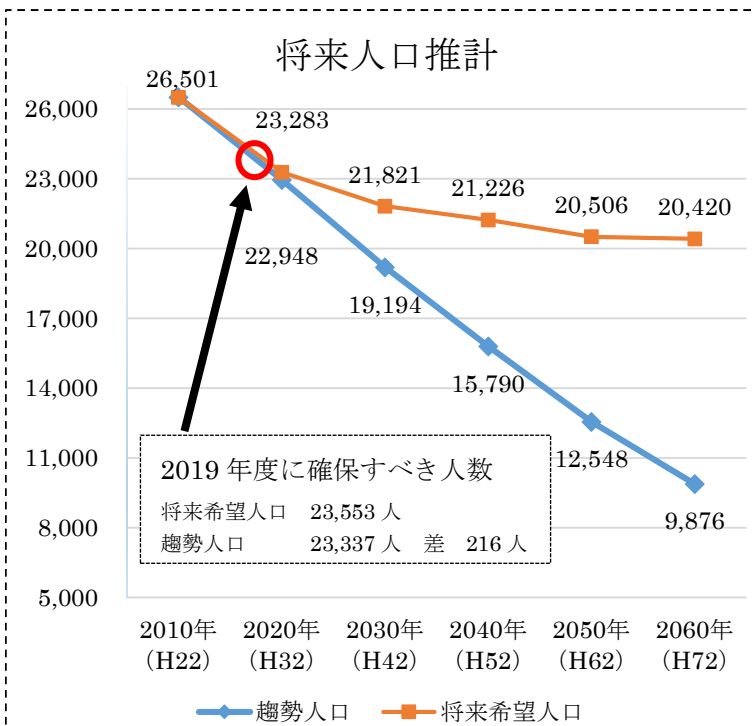
◇ 市民参加による意見聴取

1. 勉強会の実施 896 人参加 (18 会場)
2. 市民アンケートの実施 対象 4,243 人 (市民・高校生) 対象 183 社 (企業)
3. 意見交換会の実施 263 人参加 (15 回)

◇ 将来希望人口の設定

将来希望人口 20,000 人 (2060 年)

2019 年度までに確保すべき目標人数を 216 人 に設定



将来希望人口の設定根拠

- U・I・J ターン純増
 - ・2016 年から毎年 15 人ずつ増加
 - ・2027 年以降は 180 人/年で推移
- 女性の U ターンの増加
 - ・上記の U・I・J ターンに加え女性の U ターン率を 2020 年までに現在の 11% から 50% に増加
- 合計特殊出生率の上昇
 - ・2020 年までに現在の 1.61 から 1.81 へ
 - ・2025 年までに 2.01 へ
 - ・2030 年以降 2.10 で推移

(参考)
 社会動態 Δ180 人/年 (H24～H26 平均)

◇ 基本目標及び数値目標

政策分野	数値目標	副題からの施策の展開の考え方
基本目標 1 “住みたいまち” にふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の流れを創る	◇5 年後の転入者数 80 人の増加 ※社会減 180 人(現在) → 100 人(平成 31 年度)	“農” と “自然” との調和が豊かな暮らしにつながる “やぶぐらし” を創造し発信します。
基本目標 2 “チャレンジできるまち” に恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る	◇新たな雇用創出数 200 人/5 年間 ◇新たな起業・創業件数 50 件/5 年間	特区事業者をはじめとする事業者の多様な農業参入や 6 次産業化、それらの関連産業を支援するとともに、“農” や “自然” を活用した新しいツーリズムに重点を置いて雇用の創出を図ります。
基本目標 3 “子育てしたいまち” に安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担い手を創る	◇出生者数 770 人/5 年間	“農” や “自然” に重点化した取組や関わりにより、養父市に愛着を持つ次世代を担う “ひと” を育み、人の流れの土台をつくります。
基本目標 4 “健康長寿のまち” に生涯現役で安心して暮らせる環境を創る	◇介護を必要としない人の年齢 85 歳 (現在 83.81 歳)	安全安心な “食” と “農” が “やぶぐらし” の基盤であり、ここに住む元気な高齢者が経済活動へ参加できる環境をつくります。

◇ 主な施策・想定する取組 (抜粋) ※具体的な施策は裏面参照

基本目標 1	若い世代 (とりわけ若い女性) の U・I・J ターンの促進 <ul style="list-style-type: none"> ◆女性 OJT 就業、スキルアップを支援 (女性を対象とした福祉現場就業支援等) ◆古民家、空き民宿などを活用した UIJ ターン者等による起業・就業を支援 ◆結婚 U ターンを歓迎する取組 ◆住まい・しごとのワンストップ窓口機能の強化 ◆やぶぐらしプロモーション ◆若者未来応援奨学金
基本目標 2	攻めの農業と 6 次産業化の促進 <ul style="list-style-type: none"> ◆農業者の法人化の推進 ◆新たな農産物の栽培と産地化の取組を支援 ◆6 次産業化の推進と拠点の整備、農商工連携を強化 ◆朝倉山椒など産品を世界への販路開拓 地域資源の活用と伝統産業のイノベーション <ul style="list-style-type: none"> ◆一円電車創生の取組 ◆明延の鉱山社宅、町並み等を再生する取組 ◆ガイドの養成 ◆養蚕の新たな産業再生への取組 (美容・健康・医療分野での新たな価値の創造を研究)
基本目標 3	農を学ぶグローバル人材の育成【特色ある教育環境づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ◆スーパーアグリキッズの育成 ◆農業を学ぶトライやる・ウィークの実施 ◆但馬農業高校との連携と下宿支援 ◆若者未来応援奨学金 (再掲)
基本目標 4	やぶ医者プロジェクトと地域包括ケアシステムの充実【医療・福祉の安心を守る】 <ul style="list-style-type: none"> ◆近未来技術等を活用した遠隔医療の充実 ◆地域医療・介護ネットワークの構築 ◆医学生入学時特別修学資金 ◆地域医療確保のための取組 ◆女性医師の働きやすい環境を整備 ◆医師確保の支度金を貸与 ◆やぶ医者大賞の実施

◇ 施策のプロジェクト化・重点化

「人は何故、養父に来るのか」を考えながら、様々な取組を有機的に結合し、施策のプロジェクト化・重点化を図ります。

- 【プロジェクトの例】
- ◇養父の“農”や自然を都市住民の癒しに活用したプロジェクト
 - ◇特区事業者により女性農業者やスーパーアグリキッズを育てるプロジェクト
 - ◇伝統産業のイノベーションにより耕作放棄地を再生し、新産業を創るプロジェクト

◇ 戦略の進行管理

☞ **P D C A サイクルの確立**

総合戦略の進捗状況は毎年 K P I に基づき評価、検証し、総合戦略に記載された施策が適切かつ効果的に実行されるよう進行管理を行います。

《基本目標①》“住みたいまち”に
⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による
新しい「ひと」の流れを創る

【数値目標】	【講ずべき施策の基本的方向】		
◇5年後の転入者数 80人増加 ※社会減180人(現在) ⇒100人(平成31年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・養父市で生まれ育った若者などへ結うターン(Uターン)を促す取組や帰郷を促すアプローチを市民総参加で行う。 ・農業をはじめ豊かな自然環境を活かし、心豊かな生活を送れる“やぶぐらし”を提案し、移住を促進する。 ・次世代を担う養父市で学び育つ若者にふるさと意識を醸成する。 ・養父市の魅力や“やぶぐらし”を多様なチャンネルで情報発信する。 		
主な具体的な施策	【KPI】		目標値
	指標	現状値	
■ 若い世代の結う(U)・合い(I)・Jターンの促進			
◇やぶぐらしの提案によるI・Jターンの促進	移住・定住相談件数	のべ350件 (H26年度実績)	のべ2,000件 (累計)
	お試し住宅利用者数	—	20組 (累計)
◇若い世代をターゲットとしたU(I・J)ターンの促進	U・Iターン支援制度を利用したU(I・J)ターンの者数	5組 (H26年度実績)	50組 (累計)
◇U・I・Jターン者等による起業・就業の促進	U・I・Jターンの者のOJT就業・起業数	—	25人 (累計)
■ 次世代へのふるさと意識の醸成			
◇ふるさと教育の推進	高校生が地域へ愛着があると回答した割合	55% (H27年度調査)	65%
◇ふるさと伝承体験学習の推進	ふるさと伝承体験講座実施回数	—	30回 (累計)
◇市内高等学校等との積極的連携	市内高等学校等からの地元就職率	58% (H26年度実績)	70%
■ 住まい環境の整備			
◇住宅環境の整備	市が関与した分譲地へ居住した世帯数	—	10世帯 (累計)
◇空き家を活用した移住・定住の推進	空き家バンク成約件数	7件 (H26年度実績)	50件 (累計)
■ 戦略的な情報発信			
◇市の情報発信体制の充実(情報の一元化と多様な情報発信チャンネルの活用)	養父市HP訪問者数	51.5万回 (H26年度実績)	100万回
◇戦略的なシティープロモーションの充実	芸術文化・伝統芸能に関する催し等の参加者数	8,600人 (H26年度実績)	12,000人

《基本目標②》“チャレンジできるまち”に
⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る

【数値目標】	【講ずべき施策の基本的方向】		
◇新たな雇用創出数 200人/5年間	<ul style="list-style-type: none"> ・“日本一農業をしやすい”環境の中で攻めの農業を展開する。 ・起業・第2創業などチャレンジしやすい環境づくりや“やぶぐらし”に欠かせないしごとを重点的につくる。 ・地域資源を活用した新しいツーリズムの創造や既存産業の振興を促進する。 ・世界に発信できる伝統産業のイノベーションにより新たな価値を創造する。 		
主な具体的な施策	【KPI】		目標値
	指標	現状値	
■ 攻めの農業と6次産業化・産業連携へのチャレンジ			
◇6次産業化の推進と拠点の整備	6次産業化への取組農業者・経営体数	—	15経営体 (累計)
◇産業連携の強化(農・食・健康関連産業のバリューチェーンの形成)	地域産業連携支援制度を活用した産業連携事業者数	—	15件 (累計)
◇朝倉山椒等のブランド化と攻める農業・産地化の推進	朝倉山椒出荷販売額	17,800千円 (H26年度実績)	75,000千円
◇但馬牛のブランド化や畜産経営の効率化の推進	和牛飼養頭数	2,287頭 (H26年度実績)	2,500頭
■ 起業・創業へのチャレンジ			
◇多様な起業・創業の促進	起業・創業支援制度を活用した起業・創業件数	5件 (H26年度実績)	30件 (累計)
◇農業を担う人材・経営体の育成	新規就農者・経営体数	—	20人(社) (累計)
◇企業立地の促進と規模拡大・第2創業などがんばる事業者の支援	企業立地・規模拡大等支援した事業者数	20社 (H26年度実績)	のべ100社 (累計)
■ 地域資源の活用と伝統産業のイノベーション			
◇近代化産業遺産の活用	明延地区の年間来訪者数	7,900人 (H26年度実績)	100,000人
◇養父型観光資源のマネジメント手法(DMO)の活用	マーケティング調査に基づいた企画ツアー数	—	10本 (累計)
◇伝統産業のイノベーションプロジェクトの推進	養蚕関連事業に取り組む事業者数	—	1事業者
■ 企業や人が訪れやすい基盤づくり			
◇国家戦略特区(農業分野以外)の推進	新たな規制緩和提案数	—	3件
◇やぶぐらしツーリズム推進拠点の整備	古民家などを活用した新たなツーリズム施設数	—	5施設 (累計)
◇生活と観光をミックスさせた情報・交通アクセス手段の構築	新たな交通アクセス手段の利用者数	—	1,000人

《基本目標③》“子育てしたいまち”に
⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担い手を創る

【数値目標】	【講ずべき施策の基本的方向】		
◇出生数 770人/5年間	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の男女が出会うことができる場(機会)をつくる。 ・子どもを安心して産み育てられる環境をつくる。 ・「地域まるごと3世代」をテーマに地域全体で子どもを育てる環境を整える。 		
主な具体的な施策	【KPI】		目標値
	指標	現状値	
■ 男女の出会いづくり			
◇男女の活動の場をつくる	若い世代で構成する団体が実施するイベント回数	—	5回 (累計)
◇男女の出会いづくりと好感度の向上	世話人等による成婚数	3組 (H27年度実績)	15組 (累計)
■ 産み育てやすいサービスの充実			
◇子どもを持ちたい希望をかなえる	中学生以下の子どもを持つ世帯のうち多子世帯の割合	56% (H26年度実績)	60.0%
◇妊娠から子育て期までの切れ目ない支援を展開	この地域で子育てをしていきたい親の割合	68.3% (H27年度調査)	80.0%
◇子育てしながら働くことができる多様な保育環境の充実	土曜日学童保育実施施設数	—	9施設 (累計)
■ 住民の参画による子育て環境づくり			
◇高齢者等による子育てへの参画の促進	高齢者が保育活動に関わる件数	—	100件(人) (累計)
◇子育て支援グループの育成支援	子育て支援活動実施回数	200回 (H26年度実績)	500回
◇企業との連携による女性の仕事と育児の両立支援	ワーク・ライフ・バランス宣言事業者数	15社 (H26年度実績)	20社 (累計)
■ 特色ある教育環境づくり			
◇「農」を学ぶグノーバル人材の育成	小学校で「農」を学ぶ(体験する)児童の割合	—	100%
◇養父市独自の小中一貫教育体制の構築	小中一貫教育実施小中学校数	—	全校 (13校)
◇就学に関する安全確保と経済的負担の軽減	子育て世帯が経済的援助の拡充を望む割合	57.2% (H25年度調査)	50.0%

《基本目標④》“健康長寿のまち”に
⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る

【数値目標】	【講ずべき施策の基本的方向】		
◇介護を必要しない人の年齢85歳 (現在83.81歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動・食・社会参加により健康長寿で誰もが元気に暮らせるまちを実現する。 ・予防と健康づくりを支えるしくみを整える。 ・安全・安心なコミュニティ環境をつくる。 		
主な具体的な施策	【KPI】		目標値
	指標	現状値	
■ 健康・長寿のまちづくり			
◇健康・体力づくりの推進	週1回以上運動をしている人の割合	35.6% (H27年度実績)	42.0%
◇地消地産と食育の推進	学校給食や病院食での養父市産品使用割合	学校給食	26.6% (H26年度実績)
		八鹿病院食	5.9% (H26年度実績)
◇高齢者等の生きがいづくりと社会参加の促進	シルバー人材センターの斡旋による高齢者の就労者数	47,000人日 (H26年度実績)	50,000人日
■ 医療・福祉の安心を守る			
◇疾病予防と健康づくりの推進	特定保健指導利用率	48.1% (H26年度実績)	60.0%
◇公立八鹿病院、市立診療所の医師確保による医療機関の安定運営	公立八鹿病院医師数	37人 (H27年4月現在)	45人
◇介護予防の推進	毎日元気にクラス開催箇所	3箇所 (H26年度実績)	60箇所 (累計)
◇地域包括ケアシステムの充実と在宅生活の推進	要介護者のうち在宅生活者数の割合	61.3% (H26年度実績)	65.0%
■ 安全・安心な環境をつくるためのコミュニティ活動の促進			
◇地域ぐるみによる消防・防災体制の充実	防災訓練参加者数	10,760人 (H26年度実績)	15,000人
◇見守りや支え合いの仕組みの充実	安心見守りネットワーク参加団体数	41団体 (H26年度実績)	50団体 (累計)
◇協働のまちづくりの推進(小さな拠点機能の充実)	協働のまちづくり支援制度を活用して地域協働に取り組む団体数	—	5団体 (累計)